

課題名	36. ビワの交雑個体群における果皮色の分離状況について												
成果の要約	1. 大房、津雲、室戸早生、田中及び瑞穂は、果皮の橙黄色に関してホモの状態にあり、次世代に黄白の個体を分離しない。 2. 黄色の果皮色は、我が国の既存品種にない、珍しい色である。果肉色は純白である。 3. 果肉色の分離状況は、果皮色とほぼ同じ傾向にある。												
成績	果皮色の分離状況												
	群	交配組合せ	♀	♂	供試 個体数	(A) 黄白	(B) 黄	(C) 淡橙色	(D) 橙黄	(A+B)	(C+D)	期待比	P
績	橙黄×橙黄 (1)	大房×茂木	大房	茂木	92			2	90	0	92	0:1	—
		大房×長崎早生	大房	長崎早生	27			3	24	0	27	0:1	—
		大房×森尾早生	大房	森尾早生	20				20	0	20	0:1	—
		大津雲×シャンパン	大津雲	シャンパン	103			5	98	0	103	0:1	—
		長崎早生×大房	長崎早生	大房	83			5	78	0	83	0:1	—
		室戸早生×茂木	室戸早生	茂木	40				40	0	40	0:1	—
		茂木×室戸早生	茂木	室戸早生	62			1	61	0	62	0:1	—
	橙黄×橙黄 (2)	シャンパン×長崎早生	シャンパン	長崎早生	27	5	1	1	20	6	21	1:3	0.74
		長崎早生×シャンパン	長崎早生	シャンパン	44	7		3	34	7	37	1:3	0.16
		浜口×茂木	浜口	茂木	39	12		1	26	12	27	1:3	0.41
		茂木×森保	茂木	森保	25	6		1	18	6	19	1:3	0.91
		森尾早生×シャンパン	森尾早生	シャンパン	35	9	1	3	22	10	25	1:3	0.63
		森部×長崎早生	森部	長崎早生	37	7		5	25	7	30	1:3	0.39
		森保×長崎早生	森保	長崎早生	39	13	1	1	24	14	25	1:3	0.12
概要	橙黄×黄白 又は 黄白×橙黄 (1)	田中×広東	田中	広東	27			3	24	0	27	0:1	—
		瑞穂×広東	瑞穂	広東	35			8	27	0	35	0:1	—
	黄白×黄白 (2)	広東×茂木	広東	茂木	12	3		1	8	3	9	1:1	0.08
		三和大果×白茂	三和大果	白茂	47	18	1	3	25	19	28	1:1	0.19
		三和大果×土肥	三和大果	土肥	30	11		1	18	11	19	1:1	0.14
		三和大果×広東	三和大果	広東	40	19		5	16	19	21	1:1	0.75
		シャンパン×広東	シャンパン	広東	23	11	1	1	10	12	11	1:1	0.84
		白茂×三和大果	白茂	三和大果	74	34		1	39	34	40	1:1	0.49
		土肥×茂木	土肥	茂木	8	4			4	4	4	1:1	1.00
		土肥×シャンパン	土肥	シャンパン	27	12	1	3	11	13	14	1:1	0.85
		長崎早生×広東	長崎早生	広東	72	28		3	41	28	44	1:1	0.06
		茂木×広東	茂木	広東	33	11		5	17	11	25	1:1	0.06
		森尾早生×広東	森尾早生	広東	59	23		5	31	23	36	1:1	0.09
		黄白×黄白	白茂木	自殖	33	32			1	32	1	1:0	—

(長崎県果樹試験場)

普及上の留意点  
 ビワの果皮色には、橙黄色の濃淡があり、ごくまれに黄色の個体が出現して、2対以上の遺伝子が関与していると考えられるが、橙黄色は、黄白色に対して優性に発現する。